

2018年12月12日

フェアリーデバイス株式会社

東京都文京区湯島 2-31-22 湯島アーバンビル 7F

報道関係各位

## 東京駅の案内業務に AI を活用する実証実験に協力

### 国産初の業務支援スマートスピーカーで 駅員の訪日外国人観光客の対応を支援

フェアリーデバイス株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役：藤野真人、以下「当社」）は、協業するT I S インテックグループの TIS 株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役会長兼社長：桑野 徹、以下「TIS」）が「東京駅の案内業務に AI を活用する実証実験」に参加する凸版印刷へ提供している、TIS のチャットボットクラウドサービス「DialogPlay（ダイアログ・プレイ）」を搭載するための端末としてマルチマイクハードウェア「Fairy I/O<sup>®</sup> Tumbler T-01」を提供していることをお知らせいたします。

本実証実験は本日より開始され、東日本旅客鉄道株式会社が設立した、「モビリティ変革コンソーシアム」の一環として実施され、TIS は凸版印刷との協業の取り組みとして AI 活用のサービスを提供しています。

訪日外国人旅行者は年々増加傾向にあり、2017 年は前年比 19.3%増の 2869 万人で統計開始以来の最高記録を更新し<sup>※1</sup>、政府は 2020 年までに年間 4000 万人に増やす目標を設定しています。そのような環境下で「訪日外国人が旅行中に困ったこと」として第一位に挙げられているのが「言語一般」で、訪日外国人を受け入れる交通機関、商業施設や宿泊施設、自治体などでは複数言語への対応やそのための対応人材の不足は喫緊の課題となっています。

本実証実験では、当社の Fairy I/O<sup>®</sup> シリーズのスマートスピーカー「Tumbler（タンブラー）」に TIS のチャットボットクラウドサービス「DialogPlay」を連携させ東京駅のインフォメーション窓口に設置し、駅員の訪日外国人観光客対応を支援します。本実証実験を通じて、多言語音声入出力の実地検証・チャットボットによるコミュニケーションの技術的課題の抽出を目指します。

※1 日本政府観光局（JNTO）報道発表 2018年1月16日：<https://www.jnto.go.jp/jpn/news/index.html?tab=block1>

## 実証実験の概要

凸版印刷と TIS は、本実証実験を通して案内、問合せ対応といった現場における AI 技術を活用したコミュニケーションツールの有用性を検証し、自社サービスの品質向上を目指します。

- ・期間：2018年12月7日～2019年3月15日 までを予定
- ・対象者：東京駅のインフォメーション窓口に来訪する訪日外国人観光客
- ・実験のサマリー：  
駅および周辺商業施設での利用を想定した多言語対応での、利用者からの問合せ、駅構内等施設内及び周辺施設案内、乗換案内等をスマートスピーカーで行います。本実験では、以下の点の検証を行います。

### 1) AI を活用した FAQ 対応

あらかじめ想定できる道案内や乗換案内等の問い合わせにはチャットボットが自動で応答します。FAQ への対応や状況のヒアリングにより適切な対応を伝えることが可能です。

### 2) 日⇔英、日⇔中の翻訳対応

訪日外国人観光客対応のためにリアルタイムで会話を翻訳します。これにより、駅員の訪日外国人観光客対応の補助が可能になります。

## 「DialogPlay」について <https://www.dialogplay.jp>

「DialogPlay」は、業務チャットボットが作成できる SaaS 型のクラウドサービスです。「Microsoft Teams」や「Skype for Business Online」をはじめとし、様々なチャットプラットフォームに向けて、業務チャットボットを作成、公開することができるクラウドサービスです。

チャットボットは GUI ベースで作成でき、自然な対話を実現可能な Azure Bot Service と Cognitive Services 機能により、ユーザーの発言である自然言語から適切な行動を推定して、ユーザーに代わって質問への回答や、業務対応ができます。Web からの申込みで、月額 5 万円より利用することができ、30 日間無料でお試しいただけます。

## T I S 株式会社について <https://www.tis.co.jp/>

T I S インテックグループの TIS は、SI・受託開発に加え、データセンターやクラウドなどサービス型の IT ソリューションを多数用意しています。同時に、中国・ASEAN 地域を中心としたグローバルサポート体制も整え、金融、製造、流通/サービス、公共、通信など様々な業界で 3000 社以上のビジネスパートナーとして、お客様の事業の成長に貢献しています。

## T I S インテックグループについて <https://www.tis.co.jp/group/>

T I S インテックグループはグループ会社約 60 社、2 万人が一体となって、それぞれの強みを活かし、日本国内および海外の金融・製造・サービス・公共など多くのお客さまのビジネスを支える I T サービスをご提供します。

## 「Fairy I/O<sup>®</sup> Tumbler」について [http://www.fairydevices.jp/fairy\\_io.html](http://www.fairydevices.jp/fairy_io.html)

「Fairy I/O<sup>®</sup>」シリーズは、「mimi<sup>®</sup>」の開発と運用で培われた知見を基に開発された、音声対話システムを構築する上で最適なホワイトレーベルハードウェア製品シリーズです。その第一弾として、先進的なスマートスピーカーに求められる機能を備えた、高さ14.5cm、直径7.5cmのタンブラー型マルチマイクハードウェア「Fairy I/O<sup>®</sup> Tumbler」の企業向け販売をしております。これにより、お客様ブランドでのスマートスピーカー商品の開発や、スマートスピーカーを応用した先進的なソリューションの開発が促進されることが期待されます。



## 「mimi<sup>®</sup>」について <http://www.fairydevices.jp/mimi.html>

高度な音声対話システムを構築するための疎結合なソフトウェアスタックであり、マイクアレイ・フロントエンド処理機能を担う「mimi<sup>®</sup> XFE」、多言語音声認識及び翻訳機能を担う「mimi<sup>®</sup> ASR/TRA」、話者識別機能を担う「mimi<sup>®</sup> SRS」、環境音識別機能を担う「mimi<sup>®</sup> ESR」等からなるクラウド API システムです。「mimi<sup>®</sup>」利用製品は、累計 180 万台に達します。

一日 50 回までの無償評価試用ができる WEB コンソールをご用意しております。

<https://console.mimi.fd.ai/console/v1/>

**フェアリーデバイスズ株式会社について** <http://www.fairydevices.jp/>

フェアリーデバイスズ株式会社は、「使う人の心を温かくする一助となる技術開発」をコーポレート・アイデンティティとして掲げ、VUI・VPA 関連技術、音／音声認識と関連する機械学習諸分野の応用研究開発、及び対話システム・UX デザインの設計と評価に強みを持ちます。

#### **商標について**

記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

#### **本プレスリリースに関するお問い合わせ先**

フェアリーデバイスズ株式会社 お問い合わせ窓口

電子メール [contact@fairydevices.jp](mailto:contact@fairydevices.jp)